

「学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会」(下北地区)

令和5年6月22日(木) 13:30~16:00 むつ市立むつ中学校 受講者数31人(職業人講師含む)

1 趣旨

地域の子どもたちの望ましい職業観や人生観を育むためのキャリア教育推進に向けて、研修会参加者がキャリアセミナーの運営方法を学ぶとともに、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者が一堂に会し意見交換することで相互の役割等についての理解を深め、関係を築く機会とする。

2 内容

(1)【あおりキャリアセミナー参観】(13:30~15:10)



「あおりキャリアセミナー」は、生徒のリクエストに応じた職種を選定し、少人数の車座形式で生徒に仕事や生き方についてお話しいただいています。生徒は講師の話を一方向的に聞くだけではなく、インタビューするなど対話型による双方向でのやりとりによって、働くことの意義や意味、職業選択の決め手などに気づき、自分の人生を主体的に考えるきっかけをつかみ、自身の将来を前向きに設計できる動機づけの機会となります。今回は、19名の職業人講師が集まり、体育館にはオンラインブースを含む16ブースを設置し、20分×3セットで対話をしている様子を参観しました。生徒たちは前のめりになって話を聞いたり、主体的にインタビューをしたりしていました。

<研修会参加者アンケートより>

- ・生徒さんたちが、とても真剣に意欲的に話を聞いたり質問したりしている姿が印象的でしたが、自分自身で選択した職種である事もその一因なのかと思いました。
- ・セミナーを通して、文具や販売の仕事に興味をもってもらえて、また他の様々な職業の方のお話を聞いて、地域の魅力を感じて、地域で働くことにも関心をもってもらえたらうれしいです。
- ・興味深いお話に私たち大人も引き込まれました。今日参加した生徒たちの職業観や自分の未来についての意識は確実に変わったことと思います。

(2)【関係者意見交換会】(15:20~16:00)

本研修会コーディネーターである認定NPO法人ハーベスト代表理事 山崎 賢治氏より、「関係者意見交換会」のねらいなどについての説明後、グループに分かれて「地域の力でキャリア教育の充実を図るには」というテーマで話し合いました。

職業人講師をどう確保するのか、地域のつながりをさらに増やすにはどうするのかなどの話や、キャリアセミナーを行った後に職場体験ができればよいのではないかなど、いろいろな話題について意見を交わしました。



<研修会参加者アンケートより>

- ・意見交換会があることで他業種の人と話ができて良かった。子どものキャリア教育ではあるが、地域の大人の交流にもなると思いました。
- ・定期的にこの様な機会があると良いのかと思います。
- ・企業と学校を結びつけるコーディネーターが必要ですね。
- ・他の業種の方や、教育に携わっている方のお話を聞ける貴重な機会でした。



3 まとめ

今年度初めてとなるキャリア教育研修会を下北地区で開催しました。「あおりキャリアセミナー」では、職業人講師も、参観していた研修会参加者も、生徒のやる気を実感することができたようです。「関係者意見交換会」では、いろいろな立場の方が、いろいろな角度で、今後に向けての話し合いができたこと自体が、とても意味があることだと感じました。11月には、西北地区にて同研修会を開催する予定です。

令和5年6月に閣議決定された国の「教育振興基本計画」では、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」が強調され、子どもたちを地域全体で育む気運を高めることが改めて重視されています。